



ともしび

令和7年4月30日
世田谷区立三宿中学校
夜間学級だより4月号
校長 濱川 一彦



「ともしび」について
家路を急ぐ人や車、越わしくなく行
きかう夜空の下、三宿中学校の
校舎に煌々とともるあかり。それは
闇を照らす学び舎のともしび。
そして、ここで学ぶ生徒一人ひとり
の心にもたくさんのともしびが……。
学ぶ場を得た喜び、中で燃や学
習への強い意欲、将来への夢、そ
して希望……。

三宿中学校夜間学級 入学式式辞

校長 濱川 一彦

温かい春を迎え、新しいスタートにふさわしい季節となりました。昨年度の終わりには、新学期には中庭の桜も散ってしまっているだろうと考えていましたが、満開の桜が新入生みなさんを迎えてくれます。本日、世田谷区立三宿中学校夜間学級、第二十二回入学式を挙行することができました。在校生、保護者・ご家族の皆様、教職員、ご来賓とたくさんの皆様と一緒に新入生を迎えることができ、期待と喜びにいっぱいです。

保護者、ご家族の皆様、中学校入学、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。私たち三宿中学校夜間学級教職員は心一つにして、一人一人の生徒が大きく成長し、夢や希望が実現できるよう、最大限の努力と援助をする決意であります。しかし、大切なことは本人のやる気と姿勢です。時に体調を崩し弱気になったり、思い悩む事態があったりするかもしれません。そんなときは、ご家庭でも相談に乗り応援していただき、無事卒業できるよう協力ください。また、ご家族で解決できない問題は、学校にご相談ください。今年度から、スクールカウンセラーも配置され、さらに環境を整えることができました。相談することがありましたらご活用ください。保護者、ご家族のみなさまとともに手を携えて生徒たちのために教育にあたります。

さて、新入生みなさん、入学おめでとうございます。6名のみなさんは、本日三宿中学校の生徒となりました。名前を呼ばれ、元気に返事をするみなさんは、夜間学級で学ぼうとする決意にあふれ、輝いておりとても立派です。不安な気持ちもあるかもしれませんが、一日も早く中学校に慣れ、楽しく充実した生活を送ってほしいと思います。先輩方や先生方、主事さん方は皆さんの夢や希望が叶えられるよう、一生懸命応援手伝います。

入学にあたりみなさんに2つのお願いがあります。一つは「初心を忘れない」ということです。今、みなさんは「頑張るぞ」という気持ちでこの場に臨んでいると思います。でも生活していく中でうまくいかないことや予想していなかった事態が起きるかもしれません。そのときは今思っている気持ちを思い出し、努力してほしいのです。努力を続けていけば道は開けます。

二つは「何事にも一生懸命取り組む」ということです。今はできないことが多いと思います。自信のない人も多いと思います。失敗は怖いですが、恥ずかしいかもしれません。しかし、何もしなければできないことは増えません。学校は失敗しても大丈夫な場所です。どんどん失敗してよいのです。失敗することでたくさんのことを学ぶのです。一生懸命取り組むこと、行動することで知識が増え経験が増え、できることが増えてきます。やらされているのではなく、自ら一生懸命取り組むことがあなたの成長をさらに伸ばしてくれるのです。

三宿中学校夜間学級は、年齢も国籍も異なる人たちが集い、助け合いながら学び、お互いを高め合う場です。文化や人生経験の交流の場でもあります。入学式にあたって、もっている初心を大切に、強い意志をもち、自分の夢を実現するために一日一日を大切に過ごしてください。しかし、時にくじけそうな仲間がいたり、温かい声をかけ、励ましあって学び続けてほしいと願っています。そして、学力を身に付け、美しい日本語を習得し、日本の社会や国際社会に貢献できる人になってください。

結びになりますが、新入生みなさんの中学生生活が実り多く、充実したものであることを期待して私の式辞といたします。

【卒業式別れの言葉】

厳しかった冬の寒さも和らぎ、校庭の桜の蕾も少しずつ膨らみはじめました。

今日、私たち三年生は、三宿中学校を卒業します。

この三年間を思い起こすと、たくさんのかけがえのない思い出でいっぱいです。それは、まるで昨日のこのように思い出されます。

私が三宿中学校夜間学級に入学したのは、三年前のことです。入学式の日、とても緊張したこと、先輩や先生方に温かく迎えていただいたことをよく覚えています。

小学校と中学校にあまり通うことができず、人と話すのが苦手、外にあまり出ることのなかった私にとって、最初の一年は困難なことの連続でした。久しぶりの学校生活、そして、初めての電車通学。勉強も遅れていたのも、一からの学び直しでした。まるで先の見えない真っ暗なトンネルの中を手探りで進んでいるような状態で、心が折れそうな日々が続きました。でも、くじけずに通い続けられたのは、入学した日から、学校でわからないことがあったら何でも相談にのってくれた先輩方。苦しい勉強を一からやさしく丁寧に教えてくださり、学ぶ楽しさと今までできなかったことができるようになる喜びを教えてくださいました先生方。そして、共に学び共に前に進む仲間と出会えたからです。もし、この出会いがなかったら、今日、この場に私はいなかったかもしれません。今日まで歩んで来られた私にとって、三宿中での出会いは、それぐらいかけがえのないものです。

少し学校生活に慣れてきた私は、自分が苦手としていることに積極的に挑戦していこうという目標を立てました。その一つが生徒会への挑戦です。私は幼い頃から人見知りで、人とコミュニケーションを取るのが苦手でした。また、苦手なことに対して「自分には無理」と決めつけて避けてしまうことがありました。そんな自分を少しでも変えたいと思い、生徒会に挑戦することにしました。最初の頃は、司会の時に緊張してしまい、言葉が出なかったり、「頑張ろう」と思う気持ちが強すぎて空回りしてしまったり、失敗の連続でした。でも、あきらめずに続けてこられたのは、一緒に活動する生徒会メンバーのサポートがあったからです。特に自分の役割に責任を持ち、お互いを信頼して、失敗があっても助け合いながら明るく頑張る姿に、いつも勇気をもらい、少しずつ人前で話すことや司会ができるようになりました。

この挑戦で私は、苦手なことでもまず挑戦してみることで、そして、その挑戦を支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れないことを学び、大きく成長することができました。

私たち三年生は、今日で三宿中学校を卒業し、新たな道を歩んでいきます。それぞれが進む先では壁にぶつかったり、時に迷い心が落ち込んだりすることがあるかもしれません。そんな時は、これまで出会った生徒の皆さんや先生方の温かい笑顔の思い出、自分らしさを大切にしながら、新たな夢に向かって歩んでいきます。

皆さんと会える日が今日で最後だと思うと、悲しさや寂しさの気持ちがあふれてきます。同時に私たちが入学してから今日まで学校生活を支えてくださった先生方と職員の皆様への感謝の気持ちもあふれてきます。私たちの知らない所でご苦労されたこともたくさんあったと思いますが、いつも親身になって私たちに向き合ってくださいました。また、どんなときでも私たちを明るい笑顔で支えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、そのおかげで私たち卒業生は今日という日を迎えることができました。

先生方、三年間、本当にありがとうございました。先生方から教わったことは、これからもずっと忘れません。学校生活を支えてくださった職員の方々もありがとうございました。そして、保護者の方々も私たちを支えてくださったことに心から感謝いたします。

在校生の皆さん、皆さんと出会えて本当に良かったです。今日でお別れですが、私は皆さんのことをずっと忘れることはないでしょう。今までいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

一緒に卒業する皆さん、進学したり、就職したり、道はそれぞれ違いますが、この学校で学んだことや思い出を大切に胸に抱いて、進んで行ってください。もう皆さんに会えなくなると思うと、寂しくなりますが、離れてもずっと応援しています。体に気をつけて、これからも、ご活躍ください。

最後になりましたが、校長先生をはじめ皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げて、別れの言葉といたします。
令和七年三月十八日
卒業生代表